



南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう

発行日:2022(令和4)年2月25日 第20号 発行者:飛騨御坊真宗教化センター長・高山別院輪番 三島多聞
高山市鉄砲町6 TEL. 0577-32-0776 web http://hidagobo.jp takayama@higashihonganji.or.jp

文書伝道 寺報のススメ

既に寺報を発行されているお寺も多いかと思いますが、なかなか最初の一步が踏み出せないというお寺もあるのではないのでしょうか。今回は「文書伝道」、特に寺報の大切さを共有させていただき、個々の形にあった、はじめの一步をふみ出すきっかけになればと思います。

さて、今年に入っても相変わらず、新型コロナの流行によって、法要や法座の中止・延期、または規模の縮小を余儀なくされています。そして、「不要不急の外出」と「3密」を避けるように自粛が促され、これまで日常的にあったご門徒さんとのツナガリと、膝を突き合わせて仏法が伝わってきた伝統が崩れつつあるという認識を、皆さまもお持ちではないでしょうか。

しかしながら、このような時代状況だからこそ、こちらから「出向く」、「届ける」ことに意識を向ける大切な時間ではないかと思えます。

■寺報の必要性

このコロナ下において、「寺報の発行」は、宗派の2020年9月に行った「新型コロナウイルス感染症の影響下における寺院の教化活動の工夫に関する



(高山2組秋聲寺 寺報「鹿野苑」)

調査」において「新たな工夫」として、複数の寺院が取り組んだ事例として挙げられています。その他にも、①掲示板を活用②法話等のプリントを作成し配布、といった文書伝道関係の新たな工夫も、取り組まれた事例としてありました。

ではなぜ、寺報の発行を行うに至ったのか。それは、教えが相続されないという困難な状況にあっても、どうにかしてその解決策を見出そうとした表れであると言えるのではないのでしょうか。

であるならば、「寺報」を出して期待されることは一体何なのか。そのヒントが2021年1月発行の真宗誌の中に、次のようにあります。

1点目は、発行後、寺報を直接持参(又は送付)することにより「多くの門徒の中の一人」ではなく、「発行者(住職・寺族)と門徒一人の関係ができる」ということがあります。仮に遠隔地にいらっしゃる方で、普段、法務の関係がなかったとしても寺報を送付することによって「寺院との繋がり」を感じてもらえる可能性があります。

2点目は、「安心感を与えて、会話のきっかけになる」ということです。教務支所にいると、「お寺には聞けないので、教えてほしいことがある」といった声を耳にすることがあります。つまり、本当は聞きたいけど聞けない現状が

少なからずあるということです。であれば、ご門徒が聞きづらいと思われること寺報で先に提示することによって、会話のきっかけ、そしてなんでも聞ける安心感と関係性を構築していくきっかけにしていけないだろうか、ということです。

■覽古考新-寺報は現代版御文？-

もしかすると、なんらかの期待をしながらも、せっかく作った寺報がそのままゴミ箱へ・・・、なんてこともあるかもしれません。しかし、こういった地道ともいえる取り組みこそ、ニューノーマルな時代における教化の在り方が変化していく中においては、大切な教化伝道の一つの形であると言えるのではないのでしょうか。そして私は、このような時代状況だからこそ、「人から人へ」、手渡しによる温かみを感じることができる寺報はさながら、かつて蓮如上人が御門徒に送られた御文ともいえる、大切な取り組みではないかと感じています。

最後に、ここまでお読みいただき、「寺報の発行」に対して少しでも「形にしてみたい!」と考えている方がおられましたら、飛騨御坊真宗教化センターまでご相談ください。また、今回は寺報の大切さについて、私自身が感じていることをお伝えさせていただきましたが、寺院の掲示板の在り方については、本紙2021年6月号(筆者:窪田純氏)にも掲載がありますので、是非ご一読ください。



6月号はコチラから!

岐阜高山教務所
高山教務支所
主事補 達 顕信



★センター・別院からのお知らせ★

※各行事は、コロナ感染の状況により中止や変更になる場合があります。

組長懇談会 帰敬式法座について

去る2月24日、センター教化についての組長懇談会が開催されました。主な説明協議事項を、以下のとおり報告します。

1、慶讃法要特別事業(高山地区)「帰敬式法座」(来年度実施)一各組へ協力要請
来年度高山地区で実施される本山指定の「帰敬式法座」についての説明と、各組での実施について協力のお願いがなされた。

帰敬式法座については、今年、別院報恩講で執行される帰敬式を受式される方を対象に実施されるもの。特に慶讃法要を明年に控え、法要テーマを法座のテーマとして掲げ、高山地区における慶讃法要特別事業として実施する。募集定員は200名を予定。基本構想を「WEB ひだご坊」に掲載する。

2、第15回全飛組門徒会研修会

来年度開催が予定されている「全飛組門徒会研修会」の内容(9月上旬予定)について意見聴取を行った。6月の企画会議で最終決定の予定。

得度研修会 4月4日 午前9時~

会場:高山教務支所 申込:高山教務支所まで申込ください。
参加費:5000円 締切:3月4日(金)

※申込、詳細については、先月号同封のチラシをご確認ください。

第40回 真宗公開講座 3月(中止)・4月開催

日時:3月7日(月) 14:00~ 講師:安藤 弥師(同朋大学) 公費:500円
中止となりました 信仰文化

日時:4月5日(火) 14:00~ 講師:和田英昭師(郡上市照明寺住職) 主催:逃げれば暗い 引き受ければ明るい 公費:500円

御堂番の中止・春季彼岸会(高山別院)

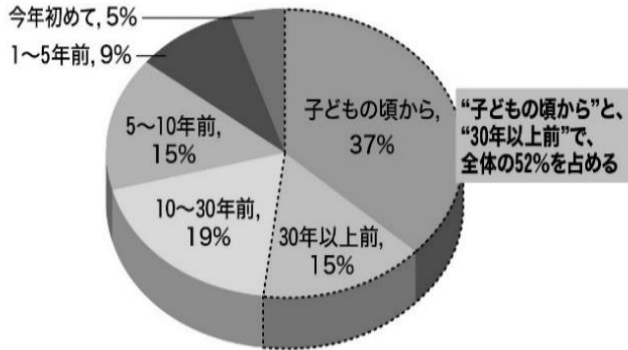
コロナ蔓延防止措置により、御堂番の中止を3月11日まで延長します。

春季彼岸/3月18日~24日 中日の21日には蓮如忌が勤まります。

- 18日(金) 北條良樹氏(了泉寺前住職) 現生不退 宗祖のころ
- 19日(土) 光本智見氏(南春寺住職) 四諦
- 20日(日) 前田法俊氏(法蓮寺住職) 寺族として生まれて
- 21日(月) 三島多聞(別院輪番) 正覚大音響流十方
- 22日(火) 帰雲真智氏(還来寺住職) 人と生まれて・・・
- 23日(水) 小原宗成氏(円龍寺住職) 生きる力
- 24日(木) 窪田 哲氏(圓徳寺前住職) 今昔物語

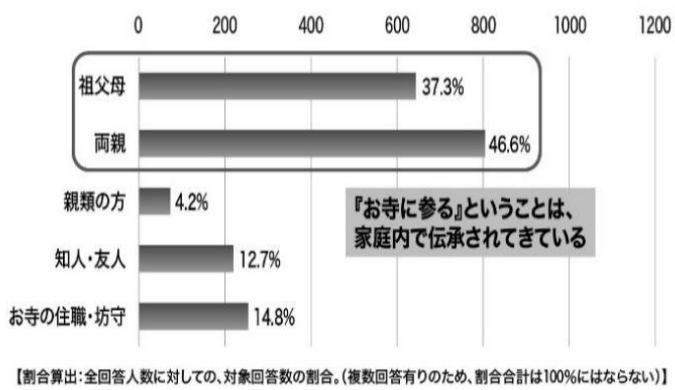
◆ 現在、報恩講にお参りされる方の多くは、子どもの頃から参られている
⇒ お参りされる方への報恩講の伝承は子どもの頃から行われている

問：あなたは、報恩講にいつからお参りされていますか？



◆ お寺への参りは、主に家庭内の祖父母・親子関係で伝承されてきている

問：お寺にお参りするよう、あなたに勧めてくれた方(ご縁ある方)はどなたですか？(複数回答可)



報恩講に関するアンケート調査結果(高山地区内 2016 年秋)

■ 青少年教化は各家庭のお内仏から
百年前、18里の道を孫の手を引いて、高山の御遠忌法要にお参りされたその姿、別院のお彼岸で見ることができます。休日は子どもと一緒に参りされている方が結構おられます。

2016年に行われたアンケート調査(左図)に興味深い結果が出ています。現在、お寺にお参りされている方のそのきっかけが、子どもの頃に祖父母や両親に勧められたというのが多いことです。

「青少年教化」というと、教区や組レベルで取り組むこと、各お寺でも子ども会を開くこととか、特別な事業と考えられることが多いのではないのでしょうか。確かにそういった事業化される取り組みも大切ですが、家族がお内仏に集うことであったり、孫や子どもを連れて、お寺や別院にお参りすることに注目すべきではないかと思えます。むしろ子どもといっしょにお参りすることは、むかし昔から行われていた青少年教化です。そのことに目を向ければ、特別な形で取り組まれる青少年教化だけではなく、一カ寺一カ寺の住職や寺族ができることの幅は広がっていくのではないかと思えます。つまり平素のお勤めの機会と青少年教化が同じ場において行われるということです。

しかし、今日の社会状況を考えれば、だ

いたいにおいて、お爺ちゃんお婆ちゃんと一緒に住んでいない子どもが多いとか、お内仏が無い状況であるとか、子ども自体が減っているとか、過疎化で地域によっては、さらに状況の悪いところもあるというのが現状なのでしょう。

だから何ともしようがない、とは考えず、身近なところで今やれることを考えていくことを止めてはいけないのではないかと思います。

■ 子どもの帰敬式受式の推進を！

昨年12月、清見組では、子ども会の開催とともに帰敬式が執行されました。



何より今回は、子どもだけではなく、家族と一緒に受式いただいたこと、家族と一緒に仏弟子であるとの確かめ場の持たれたことに大きな意味があると考えています。

大谷派における青少年教化の基本方針には、青少年を「教化される人」と固定してきたことの問題を確認し、「青少年と共に悩み、共に生きる」ことの大切さが示されています。

センターにおいても、「共に仏弟子である」ことを確かめていく機縁となることを願い、今後も、青少年(子ども)の帰敬式受式を推進してまいります。

飛騨御坊真宗教化センター

耳なれすずめ



『高山市民時報』ミニ法話『響』3月の寄稿者

- 江馬雅臣氏(益田組 賢誓寺副住職)
- 三島多聞(高山別院輪番)
- 岩佐幾代氏(吉城組 浄永寺坊主)
- 春國文春氏(高山2組 玄興寺住職)

web ひだご坊でも「一口法話」配信中！

※印刷したものの郵送をご希望の方は、教務支所までご一報ください。

聖教学習会 講師 マイケル コンウェイ 氏(大谷大学准教授)
〈育成部会〉 テーマ 『安楽集』に学ぶ 一時機の自覚

【第1回】2月25日(金) [日程] 13:30~16:00 (共通)

【第2回】3月8日(火) [会場] 高山教務支所

【第3回】3月15日(火) [会費] 500円

当初予定の2/2、2/14はコロナ感染拡大により中止となり、上記のとおり変更となりました。今後の中止延期については、「web ひだご坊」をご確認いただくか高山教務支所までお問い合わせください。

また、WEBでの受講をご希望の方は、上記のフォームからお申し込みください。↑↑↑



第2回申込



第3回申込

飛騨御坊真宗教化センター・高山別院 2022年3月行事予定 ※コロナ感染の状況により中止や変更になる場合があります。

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区	会場
1	火			
2	水			
3	木	13:00	別 嘉念坊善俊上人ご命日法要(内勤め)	本堂
4	金	14:00	教 慶讃広報部会	高山支所
5	土			
6	日			
7	月	14:00	七 真宗公開講座(講師:安藤 弥氏) 中止	本堂
8	火	13:30	七 聖教学習会② web 対応可	研修室
9	水	13:00	教 高山支部坊主会研修会① Web 対応可	研修室
10	木	13:30	教 解放推進協議会 公開学習会(講師:訓覇 浩氏)	高山支所
11	金	13:00	別 大谷婦人会定例 法話:輪番	御坊会館
12	土			御坊会館
13	日	7:00 13:00	別 前住上人ご命日 別 納骨経	本堂 本堂
14	月	9:00	別 おみがき 組 益田組門徒会研修会 延期	本堂
15	火	7:00	別 一日華 七 聖教学習会③ web 対応可	研修室
16	水	13:30	教 真宗同朋会執行部会	研修室
17	木	19:00	組 高山二組親鸞教室⑤	御坊会館
18	金	13:00	別 彼岸会 法話:北條良樹氏(了泉寺前住職)	本堂

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区	会場
19	土	13:00	別 彼岸会 法話:光本智見氏(南春寺住職)	本堂
20	日	13:00	別 彼岸会 法話:前田法俊氏(法蓮寺住職)	本堂
21	月	13:00	別 彼岸会(蓮如忌併修) 法話:三島多聞(別院輪番)	本堂
22	火	13:00	別 彼岸会 法話:帰雲真智氏(還來寺住職)	本堂
23	水	13:00 13:30 13:30 19:00	別 彼岸会 法話:小原 宗成氏(圓龍寺住職) 教 解放推進協議会 輪読会 組 高山二組坊主会 教 教学研究部	本堂 高山支所 研修室 研修室
24	木	13:00	別 彼岸会 法話:窪田 哲氏(円徳寺前住職)	本堂
25	金			
26	土	13:30 19:00	組 朝日高根組門徒研修会 組 高山一組後期教習事前学習	長圓寺
27	日	13:00	別 親鸞聖人お逮夜	本堂
28	月	13:00	別 親鸞聖人御命日 法話:三島 大遵氏(真蓮寺住職)	本堂
29	火	14:00	七 帰敬式法座スタッフ学習会①	研修室
30	水			
31	木			

2022年4月 ※15日ごろまでの掲載とし、定例行事は省きます。

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院	日	曜	時間	ご坊センター・高山別院
4	月	9:00	教 得度事前研修会	6	水	13:00	教 高山支部坊主会研修会②
5	火	14:00	七 真宗公開講座 講師和田氏	8	金	~10日	組 高山一組後期教習

※ 3/12~14の朝日高根組後期教習は中止となりました。